

熊本の歴史と自然

〈22〉星の光の地球への旅

冬は乾燥して空気が澄み、さらには、1年の中で最も多くの1等星が見られる時期のため、美しい星空を楽しむことができます。星は、見かけの明るさで、明るいほうから順に1等星、2等星、3等星、4等星……と分けられており、数字が大きくなるほど暗くなります。1等星は、最も明るい星のグループです。

冬の星空を代表するオリオン座には、熊本から見える星座の中では唯一、1等星が2個も含まれています。それは、リゲルとベテルギウスです(写真①)。そして、オリオン座の中には、オリオン大星雲(M42)という天体があります。それは、オリオンのベルト(三つ星)の下部にある散光星雲で、星雲の中で生まれた星が周りのガス雲を明るく照らしています(写真②)。地球からオリオン大星雲までの距離は約1500光年。すなわち、今、地球から見えているオリオン大星雲の光は、広大な宇宙空間の中を約1500年もの長い時間をかけて旅をしてきたということです。つまり、現在のわたしたちが見ているオリオン大星雲は、約1500年前の姿ということになります。

光は毎秒約30万キロメートルという、ものすごいスピードで進んでいます。これは、1秒間で地球を7周半回るスピードです。そのため、わたしたちは普段、周りの景色であればリアルタイムで見ることができますが、オリオン大星雲のように、夜空に輝く星々は違います。星の光は、宇宙という途方もなく広い空間を、長い時間をかけて地球にたどり着きます。わたしたちが見ている星の光はすべて過去のものなのです。オリオン大星雲以外にも、夜空に輝く恒星(自ら光を放つ星)の中で地球に一番



写真① オリオン座



写真② オリオン大星雲(M42)



写真③ 稲荷山古墳の出土品馬具

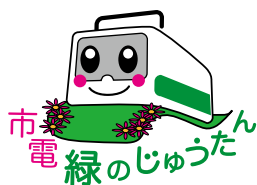
近いアルファ・ケンタウリ(ケンタウルス座アルファ星)は約4.3年前の姿、地球から一番近い恒星である太陽は約500秒前の姿、地球に最も近い天体である月でさえ、約1.3秒前の姿です。

オリオン大星雲が光を放った約1500年前ということ、日本は古墳時代でした。この頃に造られた古墳の1つが稲荷山古墳(北区打越町)です。稲荷山古墳からは馬具・装身具などの豪華な副葬品が出土しています(写真③)。わたしたちが見ているオリオン大星雲は、これらが造られた頃の姿……。そう考えると、なんだか不思議ですね。

ちなみに、リゲルとベテルギウスは、それぞれ、地球から約860光年と約500光年離れています。約860年前は藤崎八幡宮が造られた平安時代、約500年前は加藤清正が活躍する少し前の戦国時代にあたります。

これから皆さんが夜空を見上げる時、「今、自分が見ている星が光を放ったのはいつ頃だろう?その時、熊本ではどのような出来事があったのだろうか?」と考えてみるのもおもしろいかもしれませんね。

今回は、権藤 貴士(熊本博物館 天文担当学芸員)が担当しています。



街なかに みどりと笑顔を運びます 市電緑のじゅうたん事業



本市では、中心市街地の緑化を進めるため、下通アーケードの樹木植栽や、屋上や壁面緑化事業への助成金制度、市電の軌道敷を芝生緑化する「市電緑のじゅうたん事業」に取り組んでいます。

「緑のじゅうたん」はどこにあるの?

熊本駅電停から田崎橋電停の区間と、水道町電停から花畑町電停までの区間にあります。

なぜ「緑のじゅうたん」にするの?

中心市街地に緑を増やすことが目的ですが、ほかにもこんな効果が期待されています。

- ① 沿線の温度抑制や騒音低減
- ② 都市景観の向上
- ③ 観光客へのアピール

今は「緑」じゃないよ。枯れてしまったの?

枯れてはいません。寒い季節、芝は休養しています。春の訪れと共に新芽を出し、緑になっていきます。

市では、この取り組みに協力していただくサポーターの皆さんを募集しています。申込みは随時受け付けています。

区分	対象	寄附金額
市民サポーター	個人	3,000円以上
オフィシャルサポーター	事業者・団体	10,000円以上

【税法上の取扱い】この寄附金は、法人税においては損金算入が認められ、所得税においては寄附金控除の対象、住民税においては寄附金税額控除の対象になります。

寄付の方法

- 1 指定金融機関での振込み/専用の振込用紙は、市庁舎1階ロビー、区役所・総合出張所などに備えてあります。振込み手数料は無料です。
- 2 現金での申込み/環境共生課(市庁舎7階)で受け付けています。

サポーターの特典

- (その1) サポーター証提示で、市の観光・文化施設の入場(入館)料が、2割引に(1年間)。
(その2) 1万円以上の寄附をした方の名前を市電の電停に掲示(5年間)。
※1回につき10万円以上の寄附をした方には、感謝状を贈呈。

(環境共生課 ☎096-328-2352)

熊本市コールセンター

休日在宅当番医、イベント情報、区の窓口業務など、いつでもお尋ねください

午前8時～午後9時(年中無休)

ひごまるコール ☎096-334-1500

FAX 096-370-2002 電子メールアドレス 1500@higomaru-call.jp

ホームページ ひごまるコール

検索

配布に関するお問い合わせ

市政だより配布センター(城南町を除く)

0120-887-778

午前8時～午後8時(土曜・日曜日、祝日は除く)
城南町にお住まいの方は開庁時間内に城南総合出張所(☎0964-28-3112)へ。

つぶやき

今回で4回目の開催となる「熊本城マラソン」、今大会も約4,000人のボランティアの皆さんが大会運営を支えます。このボランティア活動、単なる無報酬の奉仕活動ということではなく、行政の仕組み、枠組みにはない機能を創造的な自由な発想で補完してもらっていると思っています。ボランティアの皆さんに労働力、技術、知識を提供してもらうことで、行政だけではできない、より斬新でスムーズな運営が可能になっていると思います。(公)

再生紙を使用しています